

みどり市に産科医院

岩盤浴の設備も導入

岩宿クリニック



星野院長

産婦人科の岩宿クリニック(みどり市笠懸町阿左美1506-3、星野正道院長)が8月17日に開院した。ここ2年の

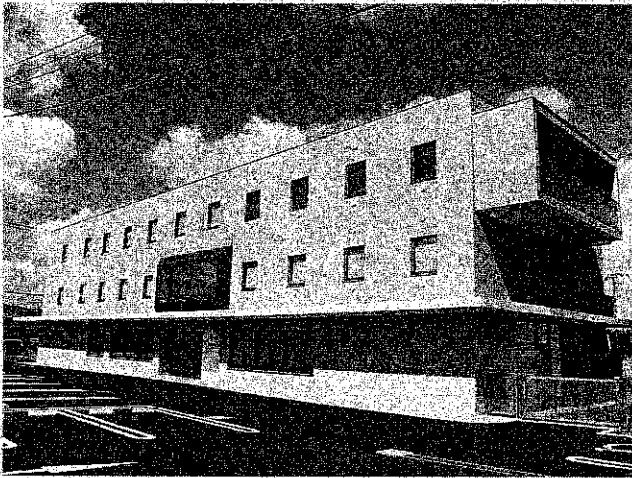
間に、みどり市内の産院が相次ぎ閉院し、同クリニックが市内唯一の産婦人科となる。

同市出身の星野院長は

自治医科大学医学部卒業後、県内の総合病院や群馬大学医学部附属病院、桐生厚生病院などで働いていた。地元産院がなくなると聞き、「このままではお産難民が

出てしまう。自分が開院し受け皿になろう」と、開院を決めた。

クリート造3階建て、延べ床面積は約530平方メートル。部屋数は14室で、うち1室が2人部屋。部屋には多目的に使用可能な



国道50号からも目立つ白とオレンジの外観

小上がりを設置。妊産婦の家族が見舞いに来た際、休息できるスペースにもなる。

同クリニックでは「くつろぎ」をテーマの1つとしており、待合い室はカフェのようなポップな色使いの明るい雰囲気。また、イベントができる約50平方メートルの「スタジオ」も設けた。母親学級や地域のイベントなどを計画している。そのほか、産後のケアに役立つよう岩盤浴の設備も導入した。院内で使用する物にも星野院長の地元への思いが込められている。名刺のエンブレムには、みどり市の花「かたくり」が描かれており、院内で使用するタオルやクッションにも刺繍はして取り入れた。

スタッフは星野院長と看護師6人、医療事務3人の10人態勢。星野院長は「地域に根

差した、地元民に頼られる産婦人科を目指す。ここがあるから安心だ」と言ってもらえるクリニックにしたい」と話している。